



なんぶ

議会だより

第87号

令和8年3月議会
発行/令和8年5月

私、
今も青春やっています



- 3月議会審議結果2~6
- 一般質問ダイジェスト7
- 一般質問8~12
- モニター募集 他13

- 住民の声をきく会14~15
- 町政に対する要望事項16~17
- 挑戦者たち18

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



令和8年度
当初予算

一般会計 歳入・歳出 80億3600万円 (対前年比11.2%の減)

賛成 10人 反対 3人 賛成多数で可決

3月
定例議会

令和8年3月定例議会は、3月2日(月)から18日(水)までの17日間開催された。令和8年度一般会計、特別会計、条例の制定及び改正、令和7年度一般会計、特別会計の補正予算等、最終日には統合保育所整備事業造成工事に関する変更契約の締結等の追加議案を含む27議案、請願1件、議員発議1件が審議され、請願1件を除きいずれも可決された。

令和8年度一般会計歳入歳出予算の賛否

討論

反対

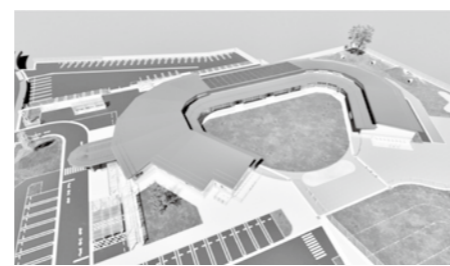
- 統合保育所の運営は民間移管せず、公営にすべき。デジタル基盤改革支援交付金廃止に伴い地方創生事業や、地域振興基金繰入金の減少から、振興協議会事業の見直し必要。えんがーの富有の改修計画見直すべきだ。
- 会計年度任用職員の処遇改善を。CO2排出削減事業の見直しで省エネ電化製品買い替え補助を。中学校給食無償化を。道路安全維持のため、除草や伐伐などに予算増が必要であると思ひ反対する。

賛成

- 子育て支援、統合保育園開園、西伯病院へ病児病後児保育再開、保護者負担軽減につながる。
- 地域振興協議会、なんぶデザイン機構、JOCAなんぶ、スポネットなんぶ等の団体は町の地方創成に貢献され支援していくべきだ。
- 防災対策、震災に強い町づくり促進事業は重要。
- 中学校の部活動が地域クラブとなる、地域クラブ支援事業により安心して部活ができる体制づくり、必要だ。
- 地元産業の振興、農林業支援、商工業の活性化対策重要であり予算案に賛成する。

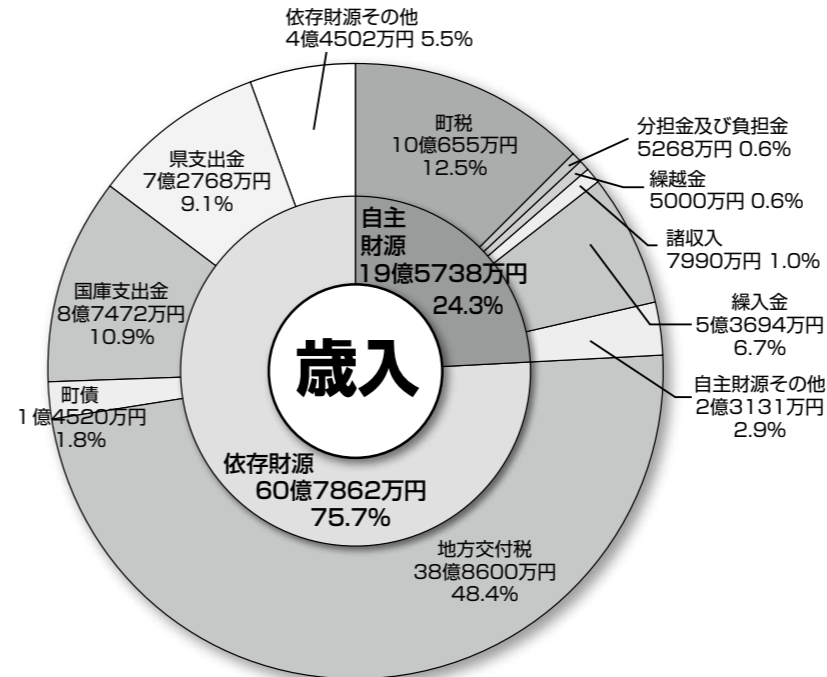
令和8年度一般会計予算の採決結果 (○賛成 ×反対)

議員名 (議席番号順)	秋田	井原	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	真壁
令和7年度一般会計予算	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×



完成イメージ図

◀11月開園に向け建設中の「かきっこ保育園」



＜主な事業＞

- がんばれふるさと寄付金事業 ……9076万円
- 移住・定住促進対策事業 ……2387万円
- 障がい者自立支援給付事業 ……4億8965万円
- 天萬庁舎子どもの居場所創出事業 ……358万円
- 公私連携型保育園運営支援事業 ……8545万円
- 予防接種事業 ……6638万円
- がんばる農家プラン事業 ……2084万円
- 6次産業化支援事業 ……7569万円
- 不登校対策事業 ……114万円
- 二酸化炭素実質ゼロ対策 ……5991万円



太陽光発電



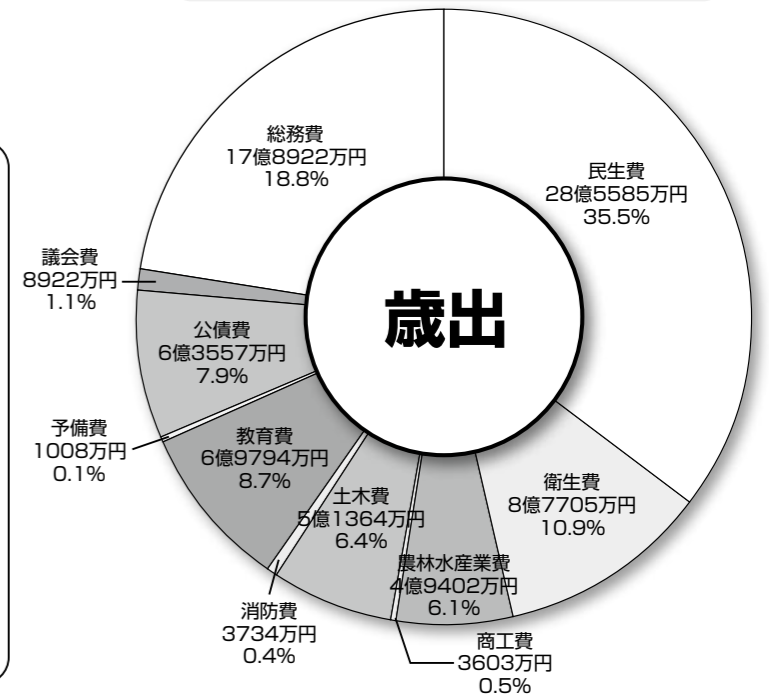
いちごハウス

一般会計の状況

自主財源 24.3% 依存財源 75.7%

例年ながら、町税他自主財源が乏しく、厳しい中での予算である。

「なんぶ創生 2.0」新年度予算
合併当初の人口1万人を割り込む状況となっている。新年度予算では、若者から高齢者までの世代が支えあいながら自分らしく人生が謳歌できる社会を目指す。



NPO法人
南部町総合型地域スポーツクラブ
スポnetなんぶ
supo net nanbu

中学校の部活動を地域クラブ移行へ担う「スポnetなんぶ」

条例の制定及び一部改正

7件の条例の改正について提案された。

- 議案第9号 乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
 - 議案第10号 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
 - 議案第13号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 賛成多数で可決され、他4件の議案については全員一致で可決された。

議案9・10号の討論

討論	反対 この制度は保育現場から以下の点について批判されている。まず、保育士不足で現場が混乱し事故のリスクが高くなる。次に実態は一時預かりで、異なる施設を転々とする児童ができる可能性がある。最後に制度が複雑で予約は一週間前となっているが、条例変更で一日前でも可である。子どもの成長を考えた場合、適切な事業と思わないので条例制定に反対する。	賛成 保育園に通っていない乳児等でも一定時間、保育施設を利用できる仕組みである。子ども同士の関りや保護者の相談や支援にもつながる。保育士の確保に心配の声もあるが、子どもたちは地域の宝、未来です。地域全体で子どもたちを支え、安心して子育てができる町をつくっていくことを願い、条例制定に賛成する。
----	--	---

補正予算 **全員一致で可決**

令和7年度一般会計及び国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計、太陽光発電事業特別会計、病院事業会計それぞれ補正予算が提案された。いずれも決算に基づいた補正であり、全員一致で可決された。

請願結果 あなたの請願は下記の結果になりました。

請願	案件名	提出者	可否
第1号	政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願書	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之 紹介議員 井原 啓明	不採択

議員名（議席番号順）	秋田	井原	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	真壁
請願1号	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○

討論	反対 農業構造改革では、農地の集約化で大規模農家の経営所得安定対策制度に変革している。結果、若い農業者も育ち、いきいきと農業に従事している姿を見ることがなくなった。現、農業施策は間違っていないと思いついて反対する。	賛成 日本の農業を守っていくためには、規模に関係なく、経営支援をしていく必要がある。EU、米国でも所得補償など支援制度がある。直接支払い等保証制度を実現すべきで賛成する。
----	--	--

特別・事業会計予算 **全員一致で可決**

会計名	本年度予算 (万円)	前年度予算 (万円)
墓苑事業特別会計	195	197
太陽光発電事業特別会計	7,110	7,110
西伯病院会計	263,603	256,743
在宅生活支援事業会計	4,934	4,532

太陽光発電事業特別会計

鶴田太陽光発電では売電収入7108万円で平成26年度に発電後、順調に推移している。

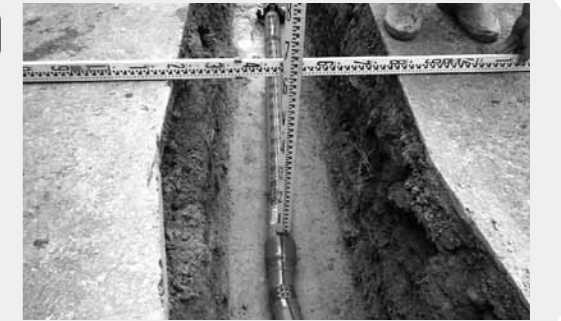


特別・事業会計予算の採決結果（○賛成 ×反対）

会計名/議員名（議席番号順）	本年度予算 (万円)	前年度予算 (万円)	秋田	井原	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	真壁
国民健康保険事業特別会計	124,300	140,560	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
後期高齢者医療特別会計	26,270	22,490	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
水道事業会計	22,489	23,121	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
下水道事業会計	44,415	43,650	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×

水道事業予算の討論 **賛成多数で可決**

討論	反対 いつも言っているが公共料金であり、値下げすべきであり反対する。	賛成 今年度の収益予算は大幅に下がりながら、何とか黒字を確保するレベルで、敷設管路工事も継続中であり賛成する。
----	---	--



国民健康保険事業特別会計の討論 **賛成多数で可決**

討論	反対 国の負担を増やすべき。子ども子育て支援金も入って負担も増加する。共助で公助になっていないので反対する。	賛成 予算前年比、11.6%の減である。国の法改正で子ども子育て支援金の負担もあるが、保険加入者皆で負担すべきであり賛成する。
----	---	--

後期高齢者医療特別会計の討論 **賛成多数で可決**

討論	反対 制度そのものに反対している。子ども子育て支援金は年寄りからとるのではなく、取れるところからとるべきであり反対する。	賛成 団塊世代が2030年にピークを迎える。世帯所得に応じた減免措置もあり賛成する。
----	---	---

一般質問

令和8年3月議会を終えて
南部町議会議長 景山 浩

80億円を超える令和8年度一般会計予算、各特別会計当初予算、令和7年度補正予算、条例の一部改正など、多数の重要案件が提案、審議された令和8年3月定例会が終了いたしました。前年度の統合保育園建設関連予算を除けば、ほぼ同額となる実質2年連続で過去最大の大型予算となっております。これは、人件費や物価の高騰などによる義務的経費の増加に起因する予算の大型化であり、議会も経費削減という視点も踏まえた執行状況の注視に努めなければならぬと考えています。

さて、ここで議会を代表し町民の皆様へ謝罪をしなければならぬ事態が発生したことをご報告しなければなりません。前回発行のななぶ議会だより第86号の13ページ、住民の声をきく会、長田地区の開催報告の「農林業について」に、「上長田の人工林は伐採期にきているが価値がない」との記載がありますが、実際には「価値がない」という発言はありませんでした。発言者及び長田地区の皆様、そして上長田をはじめとした町民の皆様には大変ご不快な思いをさせてしまいましたこと、心からお詫び申し上げますとともに、今後このような間違いが無いよう正確な記録に努めてまいりますので、ご容赦を賜り、引き続き議会の取り組みに、ご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和8年3月定例議会一般質問ダイジェスト

議員名	発言時間(分)	質問事項
1 埜田 光雄	20	1 地震時の情報発信のタイミングは
2 三嶋 義文	30	1 震災に対する今後の対応
		2 統合保育園完成後の旧保育園の活用
3 長束 博信	30	1 町条例に差別定義の追加は
4 秋田佐紀子	30	1 子宮頸がん予防対策
5 加藤 学	30	1 水道料の基本料金の減免を
		2 地震による水道断水の対策等
		3 除雪
6 眞壁 容子	30	1 保育園の民間移管
		2 省エネ対策でエアコン設置に補助を
		3 地方自治の本旨
7 荊尾 芳之	30	1 宅地の整備や開発は
		2 水道事業
8 井原 啓明	30	1 南部町地域防災
		2 災害時における避難行動の体制整備
9 仲田 司朗	30	1 西伯病院の今後の経営
		2 移住転住対策
10 板井 隆	30	1 町と町民生活の維持
		2 公私連携型保育所「かきっこ保育園」の運営

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

南部町のホームページからも一般質問等の動画が見れます。



【質問の通告】
一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

3月定例議会報告（追加議案、発議案）

全員一致で可決

追加議案

令和7年度一般会計補正予算 4,338千円追加し総額99億19,841千円とする。介護保険対事業費補正予算（全員一致）可決された。

議案第27号 統合保育所整備事業造成工事に関する契約変更の締結について

議員名（議席番号順）	秋田	井原	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	眞壁
議案第27号	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×

討論

反対 昨年、10月末の協議書で変更造成工事が今日まで行われた。本来、250万円以上の契約変更では議会の議決が必要であり、ないまま造成工事が進んできたことは法的に問題があると思う。また、地域住民への説明責任も充分でないと思っている。議会、住民軽視であって反対する。

賛成 造成工事変更の原因、経過については委員会の中で説明を受けてきた。間違いがあったことは否めないが、この度の変更契約を議決し、工事が遅延することなく11月の開園に向けた対応が必要であり賛成する。



発議案

発議案とは 議会の会議において、議員が「議案」を議長に提出することをいいます。原則、3人以上の議員の賛同が必要で、発議案として「条例」「意見書」がある。

外交努力により中東地域の早期事態収拾を求める意見書

2026年2月28日、米トランプ政権とイスラエルのネタニヤフ政権は、イランに対する大規模な攻撃を開始した。これは、国連憲章と国際法を蹂躪する無法な先制攻撃である。これまでの歴史的経緯から、各国のあいだで緊張関係が続いているが、いかなる理由があろうとも、国際法を無視した武力攻撃を行い、幼い子どもを含め、罪のない一般市民に多くの犠牲者が出ることは許されることではない。戦争は最大の人権侵害であり、これほど悲惨で過酷なものはない。また、ホルムズ海峡周辺の自体悪化で、原油輸送に影響を及ぼし、日本国内でも、ガソリン等、エネルギー価格の高騰が物価高に追い打ちをかけ、国民生活

に深刻な影響を与えてきている。日本政府におかれては、当事国をはじめ各国に対して、国際法を遵守し武力ではなく対話を基調とした外交努力により、中東地域の現状について早期に事態収拾を働きかけることを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年3月18日

鳥取県西伯郡南部町議会

【提出先】 内閣総理大臣、外務大臣、衆議院議長、参議院議長



長束 博信 議員

長束 南部町における部落差別をはじめあらゆる差別を無くす条例に差別の定義を追加する考えはないか。

教育長 国の情報プラットフォーム対処法を補完し、不当な差別事案に関して削除命令に従わない時は氏名等の公表、過料の規定があるなど一歩踏み込んだ内容で削除の実効性を高めるものだ。

町長 鳥取県人権尊重社会づくり条例が改正されたが町の受け止めは。

教育長 現時点では追加しない。個別の定義を追加した場合、定義のみに着目してしまう恐れがあり、あらゆる差別を許さないという強い意志の現れとしての意図を含んでいる。

長束 人権意識調査の結果はいつまとまるのか。

教育長 現在集計、分析中で年度内に報告書を作成し、次年度の5月のミカエルセミナーで報告会を開催する。



人権尊重の標柱

Q 地震時の情報発信のタイミングは適切なタイミングで発信した



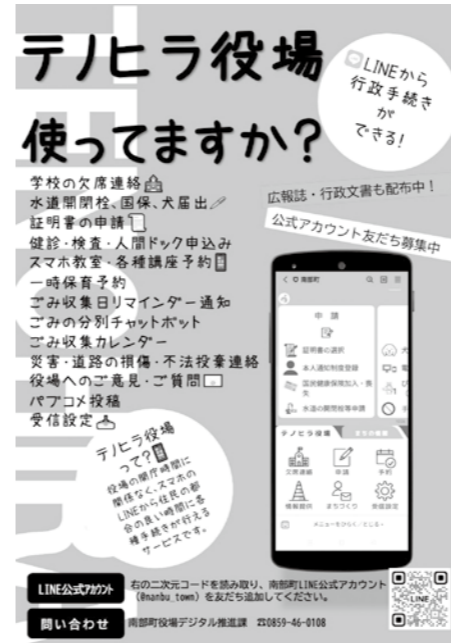
動画が見られます



長束 博信 議員

裕田 地震時の情報発信のタイミングをどの様に考察しているのか。

町長 状況に応じて適切なタイミングで情報発信を行ったと考えている。



LINE公式アカウント
お問い合わせ

裕田 発災直後に住民が避難行動などをとりやすくする内容の発信ができなかったのか。

町長 防災訓練の推進と併せて、最初に何をすべきかを町民の皆さんと探ってみたいと思う。

町長 現在のテノヒラ役場の登録者数と今後の推進についての考えを問う。
町長 LINEのテノヒラ役場の登録者数は約3,700人強で、これからも登録者を増やしていく努力を進めていく。

Q 震災に対する今後の対応は
A 早急に対策の方針決定をする決定する



動画が見られます



三嶋 義文 議員

三嶋 1月6日の地震では、会場の水道水源が濁るといった被害が発生した。25年前の鳥取県西部地震でも水源が濁る同様の事態が発生している。町のこれまでの取り組みと今後の対応を伺う。

町長 平成21年に田住配水池の増設工事など安定供給の強化を図り、水源対策では平成29年に新水源を求めてボーリング調査を実施したが、水質が飲用水としては不適であったため新水源は断念した。
本年1月の臨時議会で水道水系



給水車で住民への給水状況

の改善策に対する予算を可決されたので、委託コンサルの調査結果を検討し、早急に改善対策の方針を決定していきたい。

三嶋 この度の地震で各世帯での備蓄品や防災グッズの必要性が見直された。町の対応策は何か。

町長 当初予算に防災グッズ購入世帯に対して1/2補助を計上している。

Q 町条例に差別定義の追加は
A 追加しない、あらゆる差別を許さない強い意志



動画が見られます

Q 子宮頸がん予防対策
A ワクチン接種とがん検診受診の広報で啓発に努める



動画が見られます



秋田 佐紀子 議員

秋田 子宮頸がんはワクチン接種と子宮頸がん検診で予防できるがと言われている。子宮頸がん予防対策の現状と今後の取り組みを問う。

町長 子宮頸がん検診の受診率は近年29%程度で推移している。ワクチン接種率は100%、子宮頸がん検診は50%を目指している。

秋田 子宮頸がん検診受診のきっかけづくりに、子宮頸がん検診とHPV検査の無料クーポン券配布はどうか。



令和7年度版の検診ガイド

町長 以前の実績では南部町は保健師によるチラシ配布の方が効果があった。個別通知・テノヒラ役場・チラシ配布などで広報し啓発していく。



荊尾 人口増に向けた住宅用地の整備や開発、宅地の確保について問う。

町長 現在、地籍調査の進捗率は町全体の36%だ。進まない理由は、相続未登記や不在地主の増加、境界に関する認識の相違等により合意形成に相当の時間が必要となることだ。

荊尾 地籍調査の進捗状況と今後の年次計画を問う。
また、事業が進まない原因と対策を問う。



地籍調査の進捗率

町長 集落にある空き家を除去し、新たな宅地として流動化させる事業を開始する。
具体的には所有者が行う災害等に係る空き家の予防的除去を支援し、除去後の土地について南部町空き家バンクを通じて流動化を図る。補助対象経費は空き家除去に係る経費として5分の4の200万円を上限に支援を行う。
耐震性能の低い空き家を除去し更地にし、新築を望む若者に宅地として活用いただく。

**Q 宅地の整備や開発は
A 空き家を除去し宅地を流動化**



動画が見られます



加藤 水道水源と給水地区の関係について問う。

町長 会見地区では滝山水源で取水した水は田住配水池へ送水され池野、鶴田、上野を除く各地へ配水されている。

加藤 今回の地震で滝山水源が濁った。今後はどのように対応するのかわかるか問う。

町長 臨時議会で水道水系改善に係る調査委託予算が可決している。本年度中に施設整備も方向性を整理する。



滝山水源地

町長 断水した期間の水道料の基本料金の減免を求める。
加藤 水道法第15条の2項により減免の対象にならない。

町長 飲料水やポリタンク等の備蓄状況や今後の計画について問う。

加藤 飲料水はペットボトル2リットルで1100ケース、ポリタンク及び給水袋で150個ある。今回の地震の対応で給水袋の半数を使用したため、県の連携備蓄基準まで回復させるように、計画的に補充していく。

**Q 水道料の基本料金の減免を
A 水道法15条により対象にならない**



動画が見られます

**Q 南部町地域防災
A 一月の災害を教訓に、改めて体制整備を図る**



動画が見られます



井原 南部町福祉推進計画における防災と福祉の連携について、地域で安心して暮らせる基盤づくりの今後の具体的な方向性を問う。

町長 地域と連携した災害時の体制づくり支援を社会福祉協議会の役割とし、行政の支援の下、地域と連携した防災に関する取り組みをすすめていく。協議会では来年度災害ボランティアセンターの設置、運営訓練を計画する。地域福祉推進に向け、行政も訓練実施に支援する。



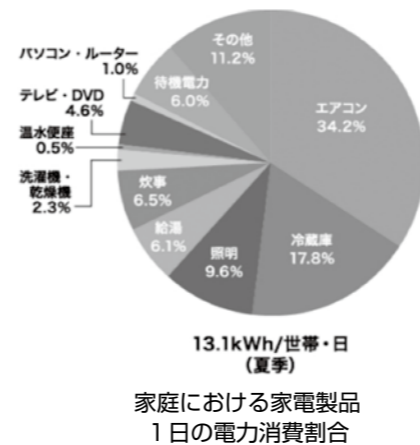
ふるさと交流センター

井原 南部町地域防災計画について、町は県が定めた災害時要介護支援者避難対策指針を踏まえ、具体的な避難支援プランを早急に整備するものとするところが、現在の状況は。
町長 災害時の避難支援及び名簿の制定を進める検討と本町の実情に即した避難・支援体制の整備を明文化していくなど、実効性あるプランの整備に取り組む。



真壁 二酸化炭素排出ゼロへの町の計画では「域内電力消費量の7倍の再生エネルギーのポテンシャルがあり、今後の取り組みが地域経済効果と就業者の誘発を呼び起こす」と論じている。町は事業者の屋根貸しを考えているが個人住宅の屋根貸し制度等で住民の負担軽減は考えられないか。

町長 民間住宅についても否定するものではない。どうすれば進むか積極的に考えたい。



真壁 家電製品で二酸化炭素排出の少ないものに変えていくことも目標達成に近づくのでは。

町長 余裕があれば喜んでいただけることなので可能だと思いが、試算をしたなかでは非常に厳しい。

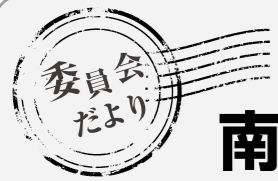
町長 県・国の補助があれば省エネ家電等の補助を検討したい。

真壁 計画には「家庭部門での各種機器の効率化」も掲げている。物価高騰、酷暑対策としてのエアコン設置等電化製品への補助を考えてほしい。

**Q 省エネ対策でエアコン設置に補助を
A 試算では非常に厳しい**



動画が見られます



広報常任委員会より

南部町議会広報モニター募集します。

～あなたの声を議会へ～

南部町議会では、広く町民のご意見を南部町議会だよりなどに反映させ、町民に開かれた議会運営を推進することを目的に議会広報モニター設置要綱を制定しました。

議会広報モニターの活動内容は、年2回程度で予定していますモニター会議に出席していただき、議会だよりや議会ホームページなどへのご意見をいただきます。

任期は、1年間となります。

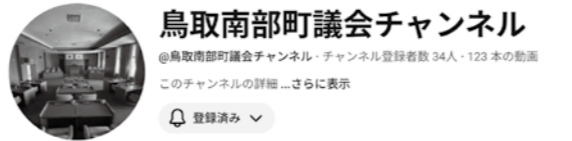
- 応募資格 町内に在住、在勤又は在学する方
- 活動内容 議会広報委員会とのモニター会議に出席（年2回程度）
- 募集期間 令和8年8月25日（火）まで
- 募集人数 10人以内
- 任期 1年間（令和8年10月～令和9年9月）
- 謝礼 あり
- 応募方法 申込書をダウンロードし、必要事項を記入して議会事務局へ持参、または郵送、FAX（0859-66-4806）送信



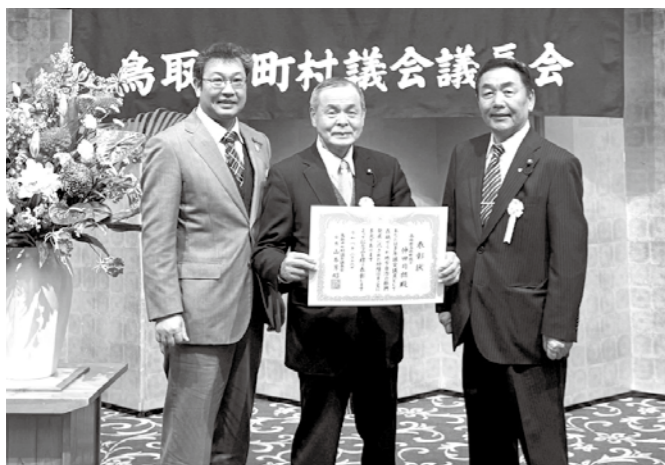
こちらから
お進みください



南部町議会だより



鳥取県町村議会議長会自治功労者表彰式にて表彰されました



13年以上在籍し功労された（左から）
白川議員・仲田議員・三嶋議員



第33回鳥取県町村議会広報コンクール
最優秀写真賞 受賞（広報常任委員会）

一般質問



仲田 司朗 議員

仲田 コロナ後に国の補助金がなくなり、赤字経営が続いている。令和8年6月から診療報酬改定があり、病院収益増が見込まれるが、赤字体質を脱却することができない。どう経営改善するのかが。

町長 円安進行や国際的な情勢変化に伴い資材やエネルギー価格が高止まりし、全国的に物価上昇が継続している。

本町では、多岐にわたる分野で軽費の増が見込まれ、令和8年度予算編成において大きな影響を受けている。



西伯病院

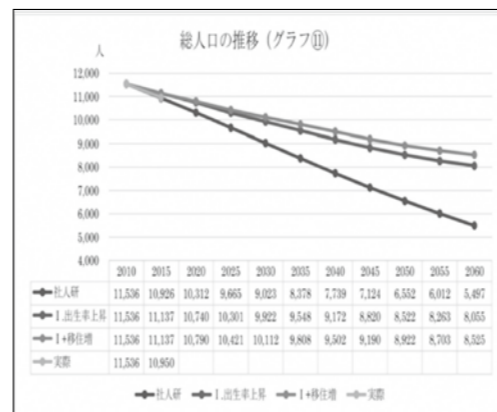
仲田 人件費の試算は。今回での改定を上回るような賃上げの動向や物価高騰が続けば、経営が一段と厳しくなる。今後策定が進む「地域医療構想」の中で求められる役割に見合った体制で経営改善を図っていききたい。

病院管理者 今回での改定を上回るような賃上げの動向や物価高騰が続けば、経営が一段と厳しくなる。今後策定が進む「地域医療構想」の中で求められる役割に見合った体制で経営改善を図っていききたい。

Q 西伯病院の今後の経営 A 地域医療構想に見合った体制で経営改善



動画が見られます



南部町の総人口の推移

Q かきつこ保育園運営支援 A 子育て支援を継続的に推進



板井 隆 議員

板井 今後の人口や高齢化、特に中山間の想定について、地域活路を生み出すため、今後の町の姿について問う。

町長 人口減少や高齢化の進行を逆転させることは困難だが、「健幸」幸せで、元気で暮らしていることができ、誇れる地域づくりを目指したい。

板井 保育園運営における、町の支援策を問う。

町長 「伯耆の国」との公私連携型保育所として町は、県の支援や独自補助制度を活用し、保育の質向上と安心安全を支援していく。

Q 町と町民生活の維持 A 誇れる地域づくりの姿を目指す



動画が見られます

福頼、掛合、馬佐良集落合同

令和8年3月22日(土) 福頼集会所で「住民の声をきく会」が開催されました。議会からは第2班 井原、荊尾、長束、仲田、景山が参加しました。

◆町議会について

- 議員のなり手不足は議員報酬の少なさが原因の一つだと思う。
- 伯耆町は人口1万人少いで定員13人、南部町は1万人を切って14人、議員定数はどうやって決めるのか。
- 議員の中には質問や発言をしない人がいるが、住民の声が議会に届かない理由の一つでは。
- 議会の形骸化と緊張感のなさ、執行部の提案に賛成するだけ、住民はこれを見て議会に魅力を感じないのでは。

◆農業

- 農業もインフラが整っていないと次世代へ繋げていけない。
- 用水路を整備しないと次世代へ引き継げない。

◆その他

- 民生委員に住民の情報が入りづらい。行政と情報共有しなければ情報があつまらない。
- 大型再エネ施設は里山の風景を壊すのでやめて欲しい。
- 通学路の障害物を撤去して欲しい。
- 地籍調査はいつ実施されるのか。
- がん検診(前立腺がん)の再検討。



住民の声をきく会

一部抜粋したご意見です。〔 〕部分は議員の発言です。

市山地区 令和8年3月19日(木) 市山公民館で「住民の声をきく会」が開催されました。議会からは3班 埴田、滝山、白川、板井が参加しました。

◆フルーツロード構想とえんがーの富有

- 柿は定植してから20~30年しないと大きな実が付かない。イチゴの栽培も市山の活性化に繋がっていないように感じる。フルーツロード構想は継続できるのか。
- えんがーの富有に日用品も置いて欲しい。
- 縁側市が常設できるような改修をして欲しい。
- 野菜やフルーツなどが常に置けるような改修をして欲しい。

◆その他

- 産業課が地域アンケートを取ったが、結果を知りたい。
- 会計年度任用職員が多い。正職員を増やして欲しい。
- 天万庁舎3階に子供の居場所を作る計画があるが交流会館を改装した方が良いと思う。
- ひまわり保育園に色々な業者が来る。防草シートの上を車が走ってボルトが抜けている。業者には指導をして欲しい。



◆上下水道

- 老朽化が気になる。更新計画はあるか。

■資金面でなかなかすすんでいないが、老朽化が特に進行している場所から優先的に進めている。

◆人口減少と集落維持

- 議会もこの問題を真剣に考えて欲しい。
- 河川に雑木が生えている。要望を出したが返事がない。

上野地区 令和8年3月22日(日) 「住民の声をきく会」が開催されました。議会からは第1班 秋田、加藤、三嶋、真壁が参加しました。(米澤は欠席)

◆携帯電話の電波が届かない

- 上野では携帯電話が使えない。
- 停電になった時、外部と連絡がとれない。
- いつ解消するのか放送して欲しい。
- 非常用の黒電話を公民館に設置して欲しい。
- 救急車が来ても集落の中ではどこへ搬送するのか連絡できない。

◆集落の道

- 県道から集落まで街灯が7、8カ所あるが、道が曲がって灯が届かない場所がある。もう少し設置して欲しい。
- 木が邪魔で灯が届かない場所もある。切って欲しい。
- 林道の維持管理も出来ていない。

◆バス

- 11月から3月までバスが来ない。
- 雪が降っていない時は上がって来て欲しい。



議会活動日誌

1月		
11	日	南部町二十歳の集い 広報常任委員会②
16	金	議会全員協議会
21	水	広報常任委員会③
27	火	臨時議会 広報常任委員会④
29	木	広報常任委員会⑤
30	金	西部広域行政管理組合議会 臨時議会 西部広域行政管理組合議会 ごみ処理施設等調査特別委員会
31	土	西部町村議会議長会 勉強会 中海・8の字ルート シンポジウム

2月		
3	火	令和7年度 鳥取県西部地区同和問題研修会
6	金	南部箕蚊屋広域連合議会 議会運営委員会
10	火	議会運営委員会 令和8年度町政要望に対する回答会
12	木	後期高齢者医療広域連合議会 定例会
13	金	西部広域行政管理組合議会 ごみ処理施設等調査特別委員会
16	月	鳥取県町村議会議長会 2月定期総会及び表彰式
20	金	西部広域行政管理組合議会 定例会
24	火	令和7年度南部町企業懇談会
25	水	南部箕蚊屋広域連合議会 定例会
26	木	南部町伯耆町清掃施設管理組合議会 定例会

3月		
		会議・行事
2	月	議会運営委員会 議会全員協議会 定例議会 本会議
3	火	定例議会 本会議 統合保育園建設調査特別委員会⑨
4	水	定例議会 一般質問
5	木	定例議会 一般質問
6	金	定例議会 一般質問 常任委員会
9	月	常任委員会
10	火	常任委員会 町立中学校 卒業式
11	水	常任委員会
12	木	常任委員会
13	金	常任委員会
16	月	常任委員会 全員協議会 統合保育園建設調査特別委員会⑩
17	火	議会運営委員会 全員協議会 広報常任委員会①
18	水	定例議会 本会議
19	木	住民の声をきく会 市山集落
22	日	住民の声をきく会 上野集落
28	土	住民の声をきく会 福頼、掛合、馬佐良集落
30	月	西部町村議会議長会連絡会

お詫びと訂正 なんぶ議会だより第86号13ページに記載した内容に誤った表記がありました。

誤 上長田の人工林は伐採期にきているが価値がない → 正 人工林は伐採期にきている

町民の皆様には大変ご不快な思いをおかけしたことをお詫び申し上げます。今後このような間違いが無いよう正確な記録、取りまとめに努めてまいります。

広報常任委員会

令和8年度 町政に対する要望事項への回答会

委員会 だより 総務経済常任委員会

1. 人口減少対策（少子化・移住定住）

- Q 「南部町こども計画」の進捗は。
- A 子育て世代の意見を基に目標を設定し、満足度調査で進捗を確認しながら、保育園における完全給食やおむつサブスクリプション導入、西伯病院の病児保育など新施策を実施する。
- Q 空き家対策はどう進めるのか。
- A 町と「なんぶ里山デザイン機構」が一体となって効果的な空き家対策及び移住定住施策の推進に努めていく。

2. 農業対策

- Q 農業対策や中古農機等の支援は。
- A 「汗かく農業者支援事業」による支援を引き続き行うとともに、国や県の事業を活用して支援制度の可否を検討する。
- Q フルーツロード構想の将来像は。
- A 観光と農業連携で賑わい創出に取り組む。
- Q 林業再生への取組は。
- A 鳥取県西部森林組合と連携し整備を進めていく。

3. 緑水湖周辺の公共施設の整理

- Q 緑水湖周辺施設の整理とポート撤去は。
- A 緑水湖周辺公共施設等は利用状況を考慮して整理する。

4. 道路、河川の維持管理

- Q 高齢化で道路水路管理は。
- A 道路・水路の維持管理は共助を補完する形で計画的に行う。
- Q 国・県管理の道路・河川は広域で要望を。
- A 近隣市町村と連携し対応を要望に取り組む。

5. 経済対策

- Q 物価高騰への生活支援は。
- A 「たすかーど」で支援実施する。
- Q 経済活性化と人口増対策は。
- A 起業支援と空き家活用で対応する。

委員会 だより 民生教育常任委員会

6. 子どもの教育機会の均等

- Q 進学奨励金の拡充と対象者の拡大は。
- A 大学生は月1万円に増額、対象者の拡大は行わない。
- Q 奨学金返還支援の創設は。
- A 県に上乘せする形で、町独自で令和8年度から実施する。
- Q クラブ地域移行の対応は。
- A 補助や施設減免で支援する。

7. 人権対策の更なる強化

- Q ジェンダー格差解消、あらゆる差別の解消の取組は。
- A 啓発講演と人権相談を実施する。
- Q 人権意識調査をもとに課題を明確にして見直しを。
- A 部落差別をなくすための計画改定を進める。人権教育施策の充実を図る方針を示す。

8. 保育園の運営

- Q 保育の質の向上は。
- A 幼児教育・保育専門員訪問で質向上を目指す。
- Q 保育士確保と待遇は。
- A 人材確保と処遇改善を進める。
- Q 新園建設の周知は。
- A 広報やSNSで周知する。

10. 健康対策

- Q ピロリ菌検査拡大は。
- A 中学3年生も実施する。
- Q 眼底検査の拡充は。
- A 制度動向を見て検討、現時点では困難。
- Q 聴力検査の実施は。
- A 「聴こえの相談会」を来年度実施する。

9. 環境対策

- Q 再エネ導入の促進は。
- A 太陽光発電など補助を拡充する。
- Q 省エネ家電補助は。
- A 国等の事業活用を検討する。

11. 西伯病院

- Q 西伯病院の支援は。
- A 町と病院が一体的に連携し運営を支援する。

12. 通学路安全

- Q 通学路の除草伐採は。
- A 定期的な除草伐採を実施する。



魯山人を思わせる 多彩な趣味を持つ



▲客神社の布絵

84歳の角田さんは語る。「私夢中になると、とことん突き詰めていくの。素地に思いを吹き込むことがとにかく楽しいの。楽しいからがんばれる。

脳裏に作品が浮かんだ時、力がわいてくるの。これが健康のヒケツね」。



▲粘土で作った農作物

つのだ あつこ
角田敦子 さん
(倭在住)



▲どっちが布絵 (左が写真、右が布絵)

Q 幼稚園の先生だったと伺いました。粘土クラフトや布絵、布作品に引き込まれたきっかけは。

A 布絵などは、ほとんど独学です。ある時、書を習っていた先生の家で、素敵なお風景画が目にとまったの。まさかその絵が布の端切れから作られていたとは。

端切れは、私にとって絵具なんです。

「ねんど」は現役時代にはじめました。樹脂粘土に色付けすることで、本物に近づける楽しさがあるの。間違えて食べようとする人も(笑)。おはなしドンやそれぞれの教室の仲間たちと楽しんでいます。私、今も青春やっています。

あどがき

南部町議会だよりが第33回鳥取県町村議会広報コンクールで最優秀写真賞を受賞しました。第31回の受賞に続いて2回目の受賞となります。

表紙の写真の受賞はうれしいことですが、肝心の「中身」についてはまだまだ発展途上です。「中身」でも賞が頂けるよう努力していきますのでよろしくお願ひします。

(加藤)



83号表紙写真

広報常任委員会
委員長
副委員長
委員

埴田 光雄
加藤 浩学
景山 隆浩
板井 立真
白川 博信
長束 啓明
井原 佐紀子
秋田 佐紀子